

令和 6 ・ 7 年度 埼玉医科大学病院医師労働時間短縮計画

計画期間

令和 6 年 4 月～令和 8 年 3 月末

対象医師

※令和 6 年 4 月 1 日時点

・ 小児科医師	26名（連携B水準：4名）
・ 産婦人科医師	17名（連携B水準：4名）
・ 救急科医師	6名（連携B水準：2名）
・ 消化器・一般外科医師	8名（連携B水準：2名）

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

小児科医師 26名（連携B水準：4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	556時間	550時間	540時間
最長	1,297時間	1,100時間	960時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	4人・14.2%	2人・7.1%	0人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0.0%	0人・0.0%	0人・0.0%

産婦人科医師 17名（連携B水準：4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	577時間	570時間	560時間
最長	1,773時間	1,300時間	960時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	4人・18.2%	2人：9.1%	0人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0.0%	0人・0.0%	0人：0.0%

救急科医師 6名（連携B水準：2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	924時間	910時間	900時間
最長	1,225時間	1,100時間	960時間

960 時間超～1,860 時間の人数・割合	2人・33.3%	1人・16.7%	0人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0%	0人・0.0%	0人・0.0%

消化器外科・一般外科医師 8名（連携B水準：2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	635時間	620時間	600時間
最長	1,189時間	1,070時間	960時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	2人・28.6%	1人・14.3%	0人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0人・0.0%	0人・0.0%	0人・0.0%

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	出勤簿による自己申告
当年度の取組目標	出退勤管理に関するIT化
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	特になし（前身の毛呂病院で許可は得ている）
当年度の取組目標	新に労働基準法施行規則第23条の宿日直許可の取得
計画期間中の取組目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	事業場における労働時間該当性を明確化するためのガイドラインを周知し管理する
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	既に医師時間外労働に係る36協定を締結している。届け出た36協定を学内LANに掲示
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	・労働安全衛生委員会を月1回開催する ・定期健康診断（年1回）、特定業務従事者健康診断を実施（年1回）する
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	令和6年度を見据え、連続勤務時間制限、勤務間インターバルの導入及び代償休息確保を可能とする勤務体制をシミュレートする。
計画期間中の取組目標	上記事項を受けて勤務体制を見直し、必要な体制を組む

(3) 意識改革・啓発
【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	特になし
当年度の取組目標	・国等が実施する病院長向けの研修会等に参加する ・診療部長会議等を通じて医師の働き方改革に向けた意識の醸成を図る
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

(4) 策定プロセス

各職種（医師、看護師、中央部門、事務員 等）から代表者が参画する業務改善会議を6ヶ月に1回開催。業務改善計画を策定し、会議において進捗状況を確認しながら各部署が各々の立案した業務改善に向けて取り組み、年度末にはその結果を業務改善会議にて報告しフィードバックしている。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	・ 初診患者への問診、入院説明、静脈留置針挿入、導尿、検査説明、退院支援調整
計画期間中の取組目標	特定行為研修を受講する看護師の増員に努める

【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	継続処方代行入力、術前外来
計画期間中の取組目標	薬剤指導を充実させる

【中央放射線部】

計画策定時点での取組実績	検査時の問診・説明、同意書・血清クレアチニン値の確認、VR画像の活用
計画期間中の取組目標	若手技師の教育

【中央検査部】

計画策定時点での取組実績	術前SARS-CoV-2-PCR検査の検体採取、病棟検査への支援体制、手術中の脳波測定
計画期間中の取組目標	若手技師の教育

【臨床工学部】

計画策定時点での取組実績	透析システムへの指示代行入力、人工呼吸器患者への巡回
計画期間中の取組目標	若手技師の教育

【栄養部】

計画策定時点での取組実績	食事オーダー代行入力
計画期間中の取組目標	代行入力の充実を図る

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	医師事務作業補助者の配置（24名）により、医師の具体的指示の下、診断書作成、NCD登録を行う。
計画期間中の取組目標	各科配置を目指して医師事務作業補助者の獲得により、医師の具体的指示による業務を担い医師の負担軽減に努める

（2）医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	特になし（主に診療科ごとの宿日直体制）
--------------	---------------------

計画期間中の取組目標	複数診療科での当直体制（夜間・休日）について検討を行う （全診療科当直で宿日直許可を取得済ではあるが、頻度によっては身体的負担も大きいと、一部において実施中であった複数診療科当直を拡大し、診療性質の近い診療科を統合する。内科は、2023年12月より、外科は2024年4月より複数診療科宿直体制を実施する予定とする。）
------------	---

計画策定時点での取組実績	職員満足度調査を実施し、医師の結果値を診療領域毎に分析している。
計画期間中の取組目標	上記の満足度調査は匿名調査であり、診療領域での分析までとなっているため、連携B水準の対象医師の意見聴取として、個別のヒヤリングやアンケート調査等を行う予定とする。

（３）その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	ITを活用した負担軽減（電子カルテの音声入力） 当直翌日の業務内容・帰宅させる等の配慮、時短勤務制の導入
計画期間中の取組目標	上記取組みの拡充等、更なる勤務環境改善に取り組む

計画策定時点での取組実績	自己申告による勤務実績管理
計画期間中の取組目標	勤務計画を含む勤務管理の質向上 （2024年4月にIT勤務管理システムの導入の予定とし、そのシステムで勤務計画を管理する。 各診療科で前月末までに、36協定時間を超えない時間外労働時間、法定休日の確保、兼業・副業先の移動時間の考慮とその労働時間の加算、宿日直許可の有無を踏まえた労働時間の分別、勤務間インターバルと代償休息を考慮した勤務計画の確保について考慮した勤務計画を作成する。その後事務統括部署にてダブルチェックを行う体制を構築していく。）

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	兼業先に宿日直許可の予定につきアンケート実施
計画期間中の取組目標	兼業先の勤務形態を確認し、宿日直許可取得の協力要請を行うと共に労働時間短縮に関する協力要請も行う

（５）C-1水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

計画策定時点での取組実績	特になし
計画期間中の取組目標	個々の医師に応じた研修目標の設定と、これに沿った研修計画の作成を行う